

中津川市の事例から考える 遊びによるふるさと教育の推進と、 観光まちづくりの可能性への考察

大正大学 中津川班
4年 菊地 3年 渥美 1年 平本 松本 館野

テーマ

遊びによるふるさと教育の推進の可能性の検討

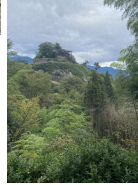
観光まちづくりの可能性への考察

2

観光まちづくりの可能性への考察

3

◎訪れた場所



- ・付知峡
- ・明治座
- ・苗木城跡
- ・リニア予定地
- ・市街地 など

4

特に市街地散策では



- ①昔ながらの静かな町並みが外国人にうける
- ②新しく綺麗な町並みが若者にうける
- ③市街地に機能が集中しているので観光しやすい

中津川市が観光地として優れていると感じられた。

5

観光×環境～苗木城～

- 苗木城の特徴
- ・高台にある
- ・街を一望できる
- ・公共トイレがある

室外トイレなのにも関わらず

- とてもキレイ、清潔
- 男性用・女性用・多機能トイレが設備されている
- AEDの設置がされている
- 苗木城跡の景観を損ねないデザイン



写真引用: Googleでの口コミ
苗木城 トイレ - Google 検索

観光地として公共トイレの充実は、
多様な観光客の人を
満足させる場として大切

6

個人テーマとの繋がり



観光と交通

栃木県宇都宮市での課題だと感じている点

観光地に車での移動が必要になる

中津川と共通していると思った

7

観光地に多くの車移動が必要

観光客の移動が限られる

地域の魅力を存分に
味わってもらえないのではないか

8

しかし……



今までずっと地元からの視点で考えていた

観光する側として中津川を訪れて

- 車で回ること自体はあまり苦ではない
- 車で回ることを活かしたら良いのではないか

新たな考え方、視点を得ることができた。

9

遊びによるふるさと教育推進の 可能性の検討

10

背景

持続可能な地域づくりを考えたい

幼いころから地域と触れ合うことが大切

遊びを通して地域について学んでほしい

11

中津川市での調査概要

ヒアリング調査

- 株式会社ゴシンボク
 - 付知で「バトラベラー田舎ード」というカードゲームを作成
- 中津川市郷土かるた協議会
 - 郷土かるた普及に向けた取り組みを行っている

教育に遊びを用いることでどのような効果があるか明らかにしたい

12

ヒアリング結果① 株式会社ゴシンボク

- 対象者:三浦 祥様
- 日時:2023年9月4日(月) 10時30分~11時50分
- 場所:龍の館(株式会社ゴシンボク オフィス)



- 内容
- 《バトラベラー田舎ード完成までの経緯について》
- 《バトラベラー田舎ード完成後のお取組みについて》
- 《バトラベラー田舎ードによる成果・学習効果について》

ヒアリング結果① 株式会社ゴシンボク

《バトラベラー田舎ード完成までの経緯について》

- 山田様の付知移住きっかけで
- カード18種類、100枚ずつ 6万円程度で第1弾完成
- 当初担当スタッフは5人

《バトラベラー田舎ード完成後のお取組みについて》

- リーグ制の導入(検討段階)
- 大分県佐伯市版のカード開発(11月中旬リリース)
- バトラベラー田舎ードNeoの開発

《バトラベラー田舎ードによる成果・学習効果について》

- キャラに愛着⇒地域や企業への愛着(企業の広告にもつながる、キャラ使用权の販売)
- 垣根を超えるきっかけ
- 働き方の変化(在宅やリモートでの勤務)



ヒアリング結果② 中津川郷土かるた協議会

- 対象者:荒木幹広様(会長)、山本文幸様(事務局長)
- 日時:2023年9月4日(月) 14時00分~15時15分
- 場所:トナーデリカ(荒木会長の工場)



- 内容
- 《かるた完成までの経緯について》
- 《かるた完成後のお取組みについて》
- 《かるたによる成果・学習効果について》

ヒアリング結果② 中津川郷土かるた協議会

《かるた完成までの経緯について》

- 2005年の合併がきっかけ
- 1冊1,000円程度、600~1,000冊作成、大会運営費用20~30万円
- 絵柄は当時の小学生・句は当時の地域の大人から募集

《かるた完成後のお取組みについて》

- 年1回大会を開催
- 学校に提供
- お土産として販売

《かるたによる成果・学習効果について》

- 地域の垣根を超えるきっかけにはなり得るが、かるただけでは意味がない
- 地域の人を巻き込んで作れたから持続している
- 家族とのコミュニケーションのきっかけ



学び

学びやコミュニケーションのきっかけとなる

働き方の多様化

自治体の他の取組と連携することが重要である

まとめ

テーマ(再掲)

遊びによるふるさと教育推進の可能性の検討

観光まちづくりの可能性への考察

19

学び

観光まちづくり

- 「昔ながら」と「新しい」の両立
- 環境整備による観光促進
- 交通の視点での観光促進

ふるさと教育

- 学びやコミュニケーションのきっかけになる
- 働き方の多様化
- 他の取組との連携が重要

20

ご支援・ご協力ありがとうございました

